

## 令和2年度 事業報告

自 令和2年04月01日

至 令和3年03月31日

本財団と旭川市の間に締結された「井上靖記念事業の実施に関する協定」により、両者は日本文化の振興及び発展に寄与するために協力して井上靖記念事業を実施いたしました。令和2年度も旭川市の「井上靖記念事業実行委員会」の全面的な協力を得て諸々の文化事業を実施・運営する予定でしたが、令和2年1月から止むことのない新型コロナウイルスの感染拡大により、中止や延期を余儀なくされた事業が多く、誠に残念な1年間でした。

### 1. 文化賞授与事業

第4回井上靖記念文化賞は、令和2年2月15日に開催された選考委員会において、作家の宮本輝氏を井上靖記念文化賞に、また、歌人の岡野弘彦氏を特別賞に決定し、令和2年5月30日(土)に旭川市において贈呈式を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止いたしました。このため、本財団理事長井上修一が令和2年10月2日の宮本輝氏(井上靖記念文化賞)の事務所を訪問し、賞状・記念品・副賞を贈呈いたしました。また、翌日の10月3日に岡野弘彦氏(同特別賞受賞)のご自宅を訪問し、賞状・記念品・副賞を贈呈いたしました。

第5回井上靖記念文化賞は、令和2年11月1日から報道機関及び文化芸術団体等を通じて候補者の推薦を募集し、20件の推薦が集まりました。前年度の選考から繰り越した7件の候補を合わせて27件が第5回の受賞候補となり、令和3年2月20日に東京都内にて選考委員会を開催し、受賞者を決定する予定でしたが、こちらも新型コロナウイルス感染拡大防止のため令和3年7月10日に日程を延期いたしました。

### 2. 日本文化の研究者、研究団体への助成事業

#### ○ 国内

井上靖文学の研究団体である「井上靖研究会」に研究誌『井上靖研究』の刊行助成を行うとともに、ホームページ管理の助成を行いました。

#### ○ オーストラリア・ニュージーランド

平成18年に、オーストラリア・ニュージーランドにおける日本文学の研究奨励のため、シドニー大学に設立した「井上靖賞」は、第14回の開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を中止いたしました。

#### ○ ベトナム

平成 27 年度に、ベトナムにおける日本文学、文化の研究振興のため、国際交流基金ベトナム日本文化交流センターと共同で開催した「井上靖賞・日本文学研究論文コンテスト」は、令和 2 年度に第 4 回の募集・選考・贈賞を行い、当該事業の実施に係る助成を行いました。

第 4 回コンテストは、受賞者が 4 人で、村上春樹とイシグロカズオの小説をテーマにしたチャウ・ホン・タオ氏（ホーチミン市師範大学大学院生）が研究者・一般部門の 1 位、百田尚樹の小説をテーマとしたグエン・チ・アイン氏（ハノイ人文社会科学大学・学生）が学生部門の 1 位となり、令和 3 年 1 月 18 日、ハノイのメリアホテルで贈賞式を行いました。

また、なかなか実施に至らなかったベトナムの翻訳出版助成事業でしたが、令和 2 年度、ベトナムの出版社ニャ・ナム出版・コミュニケーション株式会社がベトナム語に訳した井上靖作『猟銃』の翻訳出版に対して、助成を行いました。

### 3. 遺品・愛蔵品の保存・公開事業

○ 本財団のホームページを更新・管理しました。

○ 旭川市「井上靖記念館」において

常設展示の他に、以下のような企画展 4 回を本財団と共催で開催しました。例年併催している「井上靖講座」は、コロナ禍のより 10 月に第 1 回のみ実施しました。

第 1 回：「井上靖 蔵書」展Ⅱ ～戦国時代の史料」展

（令和 2 年 5 月 26 日から令和 2 年 10 月 25 日）

第 2 回：「井上靖 人と文学 X－『幼き日のこと』を巡って」展

（令和 2 年 10 月 31 日から令和 3 年 1 月 31 日）

第 3 回：「井上靖の旅 I 日本編」展

（令和 3 年 2 月 6 日から令和 3 年 5 月 9 日）

第 4 回：特別展示「3.11 文学館からのメッセージ」

（令和 3 年 3 月 2 日から令和 3 年 5 月 9 日）

○ 日南町美術館において

展示資料寄託契約のもとに常設資料展示に協力しました。

○ 長泉町の「井上靖文学館」において

常設展示の他に、以下の企画展を本財団の後援で開催しました。

「井上靖とオリンピック 1960-1964」展

（令和 2 年 3 月 12 日～令和 3 年 3 月 23 日）

### 4. 近代文学資料収集・調査研究事業

○ 日本近代文学館との共同事業により、日本近代文学に関する蔵書・資料・アルバム・書簡等の収集整理を行いました。

- 日本近代文学、殊に井上靖に関する蔵書・資料・アルバム・書簡等の収集整理を行う他、井上靖の資料収集・調査研究を行っている当財団機関誌『伝書鳩』第21号を12月に刊行しました。

## 5. 講演会開催事業

- 旭川市井上靖記念館における文学講演会の開催  
10月に旭川市井上靖記念館において、財団理事長井上修一を講師に招き、文学講演会の開催を計画していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。
- 旭川市井上靖記念館における「青少年エッセーコンクール」を共催  
第9回「青少年エッセーコンクール」（主催：旭川市教育委員会，井上靖記念館（指定管理者 NPO 法人旭川文学資料友の会））を共催。応募総数 283 件の中から中学の部 6 作品，高校の部 5 作品を入賞に決定しました。  
新型コロナウイルス感染症の流行拡大防止のため、表彰式は吉増剛造審査委員長による講評などを録画収録し、YouTube によるネット配信を活用して実施いたしました。  
また、井上靖記念館が同コンクールにおける第1回から第8回までの受賞作品を編纂した「エッセーコンクール優秀作品集」に係る制作助成をおこないました。
- 『あすなる忌』（井上靖追悼事業）  
例年1月29日の井上靖の命日に近い日曜日に伊豆市湯ヶ島町の熊の山墓地と天城会館劇場ホールで、伊豆市、伊豆市教育委員会、井上靖ふるさと会主催、長泉町「井上靖文学館」、本財団等の後援で実施しておりました『あすなる忌』（井上靖追悼事業）は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。  
また、伊豆市の天城湯ヶ島町民劇団「しろばんば」が、開催を予定していた演劇公演は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となり、本年度における女性の実施されませんでした。